

学校だより 5月号

令和4年5月2日
鴻巣市立小谷小学校

小谷っ子

【学校教育目標】 夢・希望にあふれる心豊かな児童の育成

TEL 048 (548) 1004

FAX 048 (547) 1467

URL <https://koya-e-konosu.edumap.jp/>

e-mail koya-e@city.konosu.ed.jp

毎月19日は「食育の日」です



学校で「学ぶ」こと



校長 棚澤 大輔

先日の授業参観・PTA 総会・保護者全体会・学級懇談会では、多くの保護者の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。学校や学級の方針をお話しさせていただきましたが、小谷っ子の健やかな成長をめざして、今後、その方針に従って教育活動を進めてまいります。保護者の皆様には、こうした学校公開の場を通して子どもたちの成長の様子をご覧いただければと考えております。コロナ禍で活動に制限がかかることもあるかと存じますが、ご理解とご支援のほどよろしくお願いいたします。

先月20日(水)に「1年生を迎える会」を行いました。はじめは緊張した面持ちで入場してきた1年生でしたが、お兄さんお姉さんの「ころ」のこもった出し物により、笑顔で楽しく過ごすことができました。1年生の皆さんは学校に慣れ、これからもっと活動的になり、生き生きとした姿が見られるものと、参加している様子を見て感じました。

さて、今回お伝えしたいのは、2年生、3年生、4年生、5年生、6年生の「1年生を迎える会」を迎えるまでの準備と当日の様子についてです。どの学年も趣向を凝らした内容で、担任の先生とともに子どもたちのアイディアを活かしながら取り組んできたことを感じさせるものばかりでした。1回や2回の練習では覚えられないような内容を発表したり、仲間と息を合わせて発表したりするなど、この一つの行事だけでも成長を感じさせる場面がたくさんありました。「練習して覚える」ということは、きっとこれからの教科の学習で活かされることでしょう。「仲間と息を合わせる」ということは、きっとこれからのクラスでの生活に活かされることでしょう。

そして何より、誰かのために「ころ」をこめて取り組むということを経験できるのは学校ならではの活動だと思います。子どもたちには先日の全校朝会で「ころをこめて」伝えることの大切さを、「行為の意味」という宮澤章二さんの詩を紹介しながらお話ししました。『確かに〈ころ〉はだれにも見えない けれど〈ころづかい〉は見えるのだ それは 人に対する積極的な行為だから』

朝会の中で、私から「相手を大切に作る気持ちを、言葉や態度にだして伝えていきましょう。」と子どもたちにお話ししました。宮澤さんは詩の最後を以下のように伝えていきます。『あたたかいころが あたたかい行為となり やさしい思いが やさしい行為になるとき 〈心〉も 〈思い〉も 初めて美しく生きる それは 人が人として生きることだ』

小谷小学校の子どもたちをはじめ、関係する皆さん一人ひとりの「あたたかい言葉がけや行動」、「やさしい言葉がけや行動」により、本校が「きらきらと美しく輝く学校」になっていけたらと考えています。

今月も保護者・地域の皆様のご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

学校での子どもたちの様子を学校ホームページでも公開しております。行事や日頃の授業風景など、こまめに更新してまいりたいと考えております。お時間ありましたらそちらもご覧いただければ幸いです。(<https://koya-e-konosu.edumap.jp/>)

